

SON・島根の活動は企業・団体・個人の皆さまのご支援によって支えられています。
ご協力ありがとうございました。【順不同・敬称略】

【お断り】ニュースレターに掲載を希望されない企業、団体、個人のお名前は割愛させていただきました。

正会員

青木 誠	岩成 フミエ	柿 木 節子	木村 香織	白根 裕文	都 間 正隆	速水 雄一	増原 久子	山本 勝昭
青山 砂織	上田 豊	柿 木 昇	木村 康子	新川 ひろみ	塔村 俊介	原 祐二	松浦 廣行	山本 美紀
青山 友行	宇田 川和義	景山 明	木村 律子	穴 道 浩	仲 佐 稔	原 正俊	松島 栄子	山本 哲也
浅津 博行	宇谷 留美	景山 俊太郎	久我 卓央	穴 道 安男	中 筋 豊通	原 裕司	松谷 和夫	横 路 仁朗
荒木 宏和	内田 達雄	景山 孝志	倉本 弘之	角 須山 辰夫	永 長 好和	平 井 澄子	松田 佳恵	吉岡 延江
飯塚 守	内田 俊雄	陰山 義広	小林 淳一	須山 展至	中 村 節夫	福 田 圭祐	松原 光男	若 槻 和宏
石原 武志	内田 雅人	影山 喜文	小 林 淳一	須山 展至	中 村 辰真	福 田 賢司	三浦 加寿子	和久利 清治
石原 千鶴	内田 政己	加後 隆	胡摩 弘孝	園 山 繁	中 村 真由美	福 田 久八	三上 恵	和田 寿子
石原 肇	江角 隆	揖 伸	小山 伸	高橋 保彦	中 村 真由美	福 田 久八	三上 恵	和田 寿子
石原 一志	遠藤 敬一郎	勝 山 学也	酒井 しのぶ	高橋 雅彦	名越 真理子	福 田 久八	三上 恵	和田 寿子
板持 さとみ	大谷 順	加藤 進	境 英 俊	竹下 三郎	榎 木 基嗣	藤 原 資 晶	村松 裕子	渡 部 渡部
井戸内義文	小川 真里	門 脇 純子	酒井 博章	田 中 康治	西 代 幹雄	藤 原 資 晶	村松 裕子	渡 部 渡部
糸賀 寿夫	落合 伸一	金津 一史	坂田 修 覚	為 石 昌利	野 津 真澄	藤 原 資 晶	安田 賢一郎	渡 部 渡部
糸賀 眞由美	尾原 陽二	栢 野 和美	阪 本 佐藤	田 本 眞人	野々内 健造	藤 原 資 晶	山内 秀洋	山口 知慶
糸川 恵美子	恩田 良一	川 角 邦生	佐 藤 隆司	千 原 博昭	野々村 清寿	古 瀬 星野	山 崎 正幸	渡 部 渡部
今岡 克己	香川 歌子	川 本 巧	佐 藤 隆司	土 江 博昭	長谷川 清樹	星 野 直美	山 崎 正幸	渡 部 渡部
岩田 浩岳	柿 木 修	北 村 仁志	上 代 弘実	土 屋 武雄	速 水 久樹	正 木 直美	山 崎 正幸	渡 部 渡部

賛助会員（個人）

明石 美恵子	岡田 尚子	久我 紀子	周 藤 吉 朗	田 中 久 則	日 野 修 一	星 野 美津子	馬 庭 志津子
吾郷 和行	恩田 仁志	駿 馬 重弘	陶 憲 三	玉 瑞 恵	日 野 由紀子	細 田 実	馬 庭 博範
吾郷 均	梶谷 朱美	小林 慶一郎	高橋 慎治	出川 清一	藤 原 克朗	細 田 若代	馬 庭 充伯
浅田 和弘	加藤 智子	酒井 恭子	高橋 眞由美	内藤 大輔	藤 原 史将	堀 江 知子	毛利 智史
足立 昭二	門脇 令子	坂本 俊雄	竹内 影子	長島 美香	藤 原 亮	前 田 伸子	森 憲子
飯塚 真理	金津 須賀子	白崎 茂一郎	竹谷 強	長妻 美樹	古 川 一雄	松浦 健吉	吉 田 聖愛
石原 佑次	川本 光咲	杉原 かおり	田 中 達也	新倉 恵子	保 科 勉	松浦 豊	吉 野 彩音
岡田 志恵美	木村 将悟	須谷 直美	田 中 千佳子	白 石 恵子	星 野 和宏	松 林 弘美	渡 邊 聡子

賛助会員（企業・団体）

明石屋株式会社	山陰中央テレビジョン放送株式会社	トヨタカローラ島根株式会社
荒木燃料株式会社	サンセイ電機株式会社	株式会社中澤建設
株式会社育英商会	株式会社さんわファクトリー	学校法人永島学園
株式会社出雲村田製作所	株式会社ジェットシステム	株式会社中筋組
株式会社サセキ中国	一般社団法人島根県経営者協会	株式会社ネスター
一畑電鉄株式会社	島根県森林土木技術協会	ネットヨタ島根株式会社
有限会社糸賀製作所	島根県農業協同組合	株式会社バイタルリード
有限会社イワナリ厨機	島根電工株式会社	株式会社博愛社
株式会社植田建設	島根トヨタ自動車株式会社	社会福祉法人比津ヶ丘保育園
雲南建設株式会社	社会福祉法人仁寿会	有限会社深石石材店
雲南道路サービス株式会社	シンセイ技研株式会社	藤原孝石材店
N P O 法人かしま鹿島総合体育館	セコム山陰株式会社	株式会社藤原鐵工所
カナツ技建工業株式会社	第一生命保険株式会社	北陽ビル管理株式会社
協栄金属工業株式会社	有限会社高浜印刷	ホシザキ株式会社
幸和建設株式会社	武永印刷株式会社	株式会社ホンダカーズ松江
社会福祉法人山陰家庭学院	田中工業株式会社	有限会社酒の横戸天狗堂
山陰クボタ水道用材株式会社	中国電力株式会社島根支社	有限会社松江自動車用品商会
山陰ケーブルビジョン株式会社	株式会社常松土建	松江土建株式会社
株式会社山陰合同銀行	ティーエスケイ情報システム株式会社	まなか建設株式会社
山陰総合リース株式会社	有限会社トップ管工	株式会社ミック

ご寄付いただきました

坂本 精志
坂本ドネイション
ファウンデーション株式会社
ホシザキチャリティクラブ
福田 圭祐
松江葵ライオンズクラブ

支援型自動販売機設置

au ショップ出雲駅南店
有限会社三和部品
美幸建設
みしまや三刀屋店
ホシザキ株式会社
サンセイ電機株式会社

支援を受けている団体

島根県共同募金会テーマ募金
松江市ボランティア連絡協議会

編集後記

コロナ禍でなかなか活動がしにくい中、少しでもアスリートのために尽力される協力者の皆さん。人の想いは無限の可能性を感じます。私も広報の立場で少しでもアスリートが楽しく活動出来るようお手伝いしたいと思います。
(広報副委員長 岡本 美緒)



知的障害のある人にスポーツを

2022.2 vol.15

スペシャルオリンピックス日本・島根

NEWSLETTER



初めてのサッカー競技会

初めてのサッカー競技会が 12 月に雪がちらつく中、開催されました。アスリート 8 名が参加しました。黄色のユニホームに身を包み、初めての競技会の参加であり、緊張した様子も感じられました。またボランティアスタッフも期待に胸をふくらませ、出場アスリートの様子を見つめながら、応援していました。競技種目は、個人技能競技(ドリブル、シュート、パス)の3種目の合計得点で争われるディビジョニングは、種目によっては個々の得意、不得意がありましたが、普段のプログラムの様子よりも、良く動いていたように伺えました。頑張った成果は結果にも表れ、「全員金メダル」素晴らしい結果を得たことはアスリートにとっても大きな自信につながったと思います。個人技能競技終了後は、ユニ

ファイブ形式のエキシビジョンマッチが行われました。アスリート能力別に2班に分け、コーチやボランティアがチームに入り、審判もつけて本番さながらの雰囲気です。初めての競技会の参加であり、緊張した様子も感じられました。またボランティアスタッフも期待に胸をふくらませ、出場アスリートの様子を見つめながら、応援していました。競技種目は、個人技能競技(ドリブル、シュート、パス)の3種目の合計得点で争われるディビジョニングは、種目によっては個々の得意、不得意がありましたが、普段のプログラムの様子よりも、良く動いていたように伺えました。頑張った成果は結果にも表れ、「全員金メダル」素晴らしい結果を得たことはアスリートにとっても大きな自信につながったと思います。個人技能競技終了後は、ユニ

東京 2020 パラリンピック 聖火フェスティバル 雲南市採火式

2020年8月12日（日）、東京2020パラリンピック聖火フェスティバル雲南市採火式が加茂文化ホールラメールにて行われました。島根県での採火式はこの日、雲南市からスタートしました。

アスリート達は、古代の衣装で手作りの勾玉を首にかけ参加しました。柿木篤アスリート委

員長が参加いただいた皆さんにスペシャルオリンピックスについて紹介してくれました。そして参加したアスリート達も緊張しながらも、自分達の気持ちを伝えることができました。アスリートの中には、パラリンピックを目指して頑張っていることを伝える人もいました。スペシャルオリンピックス日本・島根（以下、SON・島根）のアスリート12人が協力して、観客の前に皆奮闘し、舞錐式火起こし器で聖火に灯す火を起こしました。採火パフォーマンスとしてラメールミュージカルスクールの中高生6人による歌とダンスが披露され、

SON・島根のアスリートも共演しました。採火された聖火はランタンに灯され、SON・島根のアスリートの皆さんの手で島根県庁へ届けられました。この採火式は、SON・島根のアスリート委員サポートの活動をされている島根県立大学の学生も参加し、聖火フェスティバルの運営をサポートしてくれ、とても心温まる採火式となりました。（広報副委員長 岡本美緒）



シリーズ
がんばる島根の
アスリートたち

アスリートアンバサダーは自身がSO活動で体験したことや想いを発信し、今よりも広く多くのかたにSO活動としてアスリートを知っていただけるよう、年間を通した広報活動を行っています。全国に3人アスリートアンバサダーはいますが、その内の一人が安田翔飛（やすだつばさ）さんです。

安田 翔飛 アスリートアンバサダーに就任して

去年の6月ごろにSONの本部からアスリートアンバサダーをやってみませんか??とお誘いいただいてアンバサダーに就任させていただきました。最初は緊張や3人で上手くやっていけるか心配でしたが、会議の回数を増やすたびに本当の兄弟のように接する事が出来るまでに成長する事ができました。コロナの影響でタブレットのチームスでの開催となりましたが、楽しく3人で協力してイベントなどの司会やインタビュー企画が出来ました。また、インタビュー企画では元日本バスケットボール選手の渡邊拓馬さんを初め、たくさんのお名人の方にインタビューさせていただきました。

この一年間で誰もが出来ない経験をさせてもらい、僕自身も成長させていただいた一年でした。これからも、やりたい事がたくさんあります。今年の一月から新たなメンバーで活動するので、僕たち第一期生は今年のメンバーをしっかりサポート出来るように頑張っていきたいと思えます。最後になりましたが、これからも変わらずアスリートアンバサダーの活動を応援していただけたらうれしいです。



（アスリート委員 安田翔飛）

ボランティア お手伝いは多種多様。一緒にアスリートを育てましょう

コロナ禍で各地のスポーツプログラム（SP）も中断、再開、中断を繰り返す事態が続いています。各プログラムの開催はコーチ、ファミリーはもちろん、ボランティアの協力が不可欠です。島根県全体でボランティア登録をしているのは257人。アスリート1人あたり2.5人です。なかなかの数字ですが、実際にSPに顔をだして活動しているのは50人程度だと思います。ボランティア不足の状態が続いているのが現状です。ボランティアの仕事はさまざまです。アスリートの受付、SPの進行

手伝い（ボール拾いや着替え補助など）、事務作業（名簿作成など）…。できることをできる時間にお手伝いいただければ、アスリートの活動向上に役立ちます。

（副会長・ボランティア委員長 藤原秀品）

スペシャルオリンピックスの活動に興味を持たれたあなた！

ぜひ1度、気軽にプログラムをのぞいてみてください。事務局に連絡頂ければ会場などご案内します。お手伝い内容は多種多様です。一緒にアスリートを育てましょう！



ありがとうございます！ 支援型自動販売機を設置いただきました



この度、ホシザキ株式会社島根工場様とサンセイ電機株式会社様にSON・島根支援型自動販売機を設置いただきました。設置にご尽力いただいたホシザキ株式会社島根工場の荒木課長にお話を伺いました。「SON・島根の活動には当社の坂本会長が以前より関わりがありますが、SONの活動をより皆に身近な存在と感じ、賛同して欲しいと思い自動販売機を設置しました。また、人の目のつくところがより皆に興味を持ってもらえると思ったので食堂に設置してあります。社員にSOを知って

もらい、簡単に支援ができるということも知って欲しいと思いました」とのあたたかいお言葉と、SON・島根の活動にこれからも協力くださることなど意欲的にお話いただきました。

（広報副委員長 岡本美緒）

支援型自動販売機はSON・島根の活動PRや活動資金の支援を目的とした支援型自動販売機です。売上の一部がSON・島根に寄付されます。設置にご協力いただける場所がありましたら、ぜひ事務局にお知らせください。

ご寄付ありがとうございました。

ファミリーの福田圭祐さんより、お香典のお返しとしてスペシャルオリンピックス日本・島根にご寄付のお申し出がありました。土江博昭副会長から、「いつも支えてくださってありがとうございます。この度は多額のご寄付を賜りましたことに深く感謝申し上げます。現在はコロナウイルス感染症の影響で活動ができない状況が続いていますが、再開の際にはしっかりと活用させていただきます。」とお礼を述べさせていただきました。福田さんからは、「故人も大変喜んでくれていると思います。今後ともよろしくお願いします。」とお言葉を頂戴しました。来年は、2023年にドイツで開催される予定の夏季世界大会への日本

選手団選考を兼ねて2022年第8回スペシャルオリンピックス日本夏季ナショナルゲーム・広島が開催され、島根県からも選手団派遣をします。ご厚意はこれらの大会参加やスポーツプログラム、その他の活動に大切に活用させていただき所存です。本当にありがとうございました。（事務局 陰山義広）



赤い羽根共同募金のご協力 お願いいたします！

2014年からスペシャルオリンピックス日本・島根として活動を始めて今年で9年目になります。ここまで続けてこられたのも、ひとえに皆様の応援のお陰と感謝しております。スポーツプログラムを通して、社会への参加をサポートしていく、素晴らしい組織です。今後も活動地域を拡げていくためには、運営面と資金面の充実が大切です。スポーツプログラムを行うためには、会場費、トレーニング用品、大会費など資金が必要になります。資金は、正会

員、賛助会員、企業会員の会費、寄付で運営されています。募金活動の1つとして赤い羽根共同募金を今年も行います。1月～3月の短期間ですが、スペシャルオリンピックスのことを少しでも多くの方々に知っていただき、募金の協力をお願いしたいと思います。チラシの振込み用紙、またはインターネットからも募金できますので、よろしく願いいたします。ご不明なことがありましたら事務局にお問い合わせください。（財務委員長 糸川恵美子）

集まれ!! アスリート

SON・島根のプログラムは現在松江、出雲、雲南、大田、江津、浜田の6地域で陸上、バスケット、水泳、ボウリング、卓球、サッカー、柔道、フロアホッケー、スキーの9競技を行っています。プログラムは一回2時間で毎月1～2回、通年で行います。コロナの影響で一部できない内容もありますが、工夫をしながら楽しく体を動かせるトレーニングを行っています。最初はできなかったことができるようになったり、一緒にやっているアスリートと仲良くなった

りすることを楽しみに多くのアスリートたちが続いています。普段のトレーニングのほかに、大会が開催され、島根県内での競技会、中四国でのブロック大会、4年に1回のナショナルゲーム（全国大会）、そしてナショナルゲームの翌年に行われる世界大会があり、トレーニングの成果を発表します。体を動かすととても元気になります。興味がある人は、見学もできますので事務局まで連絡ください。（スポーツプログラム委員長 尾原陽二）

だれでも参加OK！ フロアホッケーをやってみませんか！

フロアホッケーという競技をご存知ですか？フロアホッケーは、スペシャルオリンピックスの競技の中で最も古い種目のひとつです。カナダでアイスホッケーとリングゲッティー（Ringette）という二つのスポーツから作られました。スペシャルオリンピックスがルールを独自



写真：特定非営利活動法人日本フロアホッケー連盟より

に考案して生まれた冬季の公式スポーツ競技です。競技人口はとて多く、2005年2月に長野県で開催された冬季世界大会は、大会競技中最大の49の国と地域、800人を越えるアスリートが参加しました。アイスリンクではなく、通常の木製のフローリングのうえで競技を行います。学校や公民館の体育館などの空いたスペースで誰でも気軽にできるスポーツです。体力、年齢等によってグループ分けをして、子どもからシニアまで、誰にでも楽

しむことができます。島根県では2020年からフロアホッケーに取り組んでいます。コロナ禍で練習時間の確保が難しく、まだまだ未熟ですが、9月に広島県で開催予定のユニバーサルフロアホッケー西日本大会出場を目標にしています。ユニファイドスポーツ※としても取り組みますので、障がいのある人（アスリート）もない人（パートナー）も、これから始めてみようと思う人も、ぜひご参加ください。（フロアホッケーヘッドコーチ 陰山義広）

フロアホッケーの活動を始めるにあたり、ご支援をいただきました。心より感謝申し上げます。ご寄付いただきました用具やユニフォームを活用し、さらに充実した活動を目指してまいります。

【競技用具】
松江葵ライオンズクラブ様
【競技用具及び試合用ユニフォーム】
ホシザキチャリティークラブ様

※ユニファイドスポーツとは…

知的障がいのある人（アスリート）と知的障がいのない人（パートナー）がチームメイトとなり、一緒にスポーツを楽しむことで、お互いの個性を理解し、尊重し合う関係を築き上げていく取り組みです。競技中はチームメイト、日常では仲間・友達としてお互いの先入観や偏見を取り除き、お互いを理解し、友情を培います。